

修学旅行で学んだこと

天気に恵まれ、三日間を大きな怪我や病気もなく過ごすことができました。元気の挨拶に始まり、1日目は奈良の東大寺に行きました。ガイドさんに連れられ班ごと奈良公園周辺を散策。やはり、大仏の大きさに圧倒された人が多かったようです。その大きさは大仏様の掌に10人乗っても大丈夫！というくらいですから、目を奪われるはずです。大仏殿の手前にある青銅は2回の大火にも負けず残った、天平からのものだそうです。バスガイドさんにも話を聞いたクラスは、「これだ！」と感慨深く眺めていました。とはいえ、皆さんの一日目の興奮ポイントはやはり鹿だったようで、バスから見えた瞬間、「鹿だー！」と歓声が上がっていました。夜におこなった体験では、疲れもありながらも集中して細やかな作業に臨んでいました。ただ、一日目は楽しいと同時に反省もあがりました。初めての宿泊行事ということで浮き足立っている場面があり、スローガンの「配慮」について、先生方や実行委員から話がありました。

二日目はいよいよ班行動。バス停がわからない、バスが混んでいて乗れなかった、財布を落とした、忘れたなどのトラブルはあったものの、概ね予定通りに行動できていました。疲れたと思いますが、知らない土地でよく頑張りました。

夕方は大江能楽堂に行きましたが、能の仮面を被ったり動きを体験したりするクラスの代表者を見て、能の奥深さと難しさと楽しさを知ったようです。しおりには、「言葉の意味はわからなかったけど、それでも芯がありハリがある声や動きに、緊張感と感動があった」と書いてありました。能楽堂の方のお話には「決められた型を決められたとおりにやるから、伝統として守られてきた。リハーサルを行わなくても決められたとおりにやるから、本番でも息が合う。それが独特の緊張感を生み出し、お客さんにも伝わる。いつでもお客さんに楽しんでもらうことを念頭に演じている。」とありました。確かに、私達は演者の動きから情景を想像したりして楽しんだので、お話の内容を実感できた貴重な体験になりました。(宿や東京に帰ってからも、泣いている仕草やズッホッの掛け声、動きなど話題になっていたくらい！)

さて、この能の話はあらゆる場面に通ずるのではないのでしょうか。客の楽しさを考えるということは、客からどう見られているか常に意識しているということです。(例えば、能面をつけてキョロキョロすると滑稽になるからしない、心情に合わせて顔の角度をつけるといった意識。)つまり、客への配慮を大切にしていると言えます。

このことから考えるに、皆さんが今回掲げたスローガン「配慮する」に大切なことは、相手からどう見られているかというふうに、自分(達)を客観視することではないのでしょうか。例えば、班長会で挙がっていたバスガイドさんの話を聞かずにうるさかったという反省も、うるさくしている自分をガイドさんはどう見ているか、ガイドさんの話を聞いている仲間はどのよう見ているか、そういった客観視があれば、防げたことでしょうか。決められたとおりにすることで伝統を守り続けてきたというお話も、決められたルールを守ることで、修学旅行としての秩序とひばり中生としての伝統を守ることに通じると思います。多くの人はそれらを意識して頑張っていました。個人でももう少し意識してほしい人がいるのも正直なところ。

長谷川先生が旅行中に「失敗した後、どうやって挽回しようとするかが大切だ。」とお話ししていました。一日目の反省や話を受けて、二日目以降は互いに声をかけたり、しおりを確認したりする人が増えました。しっかりと成し遂げようと意識し直した人が多くいたことも伝わりました。修学旅行中の学びの証だと思います。(三日目の様子と写真はまだ後日のおたよりで…)

※本日学校ホームページに、一日目の様子が掲載されていますのでご覧ください。

限界突破！日記②

～運動会に向けて、日々OverTheTOP～

学年練習で初めて大ムカデと全員リレーを行いました。大ムカデでは各クラスの掛け声が響き渡り、工夫をこらしながら頑張っていました。しかし、全クラスがそろそろ声が今まで以上に聞こえない、出だしがそろわないなどの改善点が見えてきました。全員リレーでは、三年目ということもありだいぶバトンパスがスムーズになってきているように見えてきましたが、バトンを渡した後の抜け方や走り終わった後座ることなど具体的な課題が見つかりました。残り一週間で団結して解決、練習していけるといいと思います。

伊藤先生は「ただ走るのが速いというだけでなく、後輩にきれいなバトンパスを見せてほしい」と、あわせて當麻先生は「5月29日の全体練習が、1・2年生に最上級生の姿を見せるデビュー戦だ。」とお話しになりました。思いが強い程意見が衝突するかもしれませんが、それを乗り越えて築き上げた運動会ならば、後輩にも最高の最上級生の後ろ姿を見せられるのではないのでしょうか。

<来週の予定>

日	曜	給食	1	2	3	4	5	6	学校行事等
29	月	○	学	○	○	○	全体練習		
30	火	○	○	○	○	○	団体練習		
31	水	○	運動会予行				—	—	
1	木	○	○	○	団体	○	○	総	③団体練習
2	金	○	学年練習		○	○	全練	準備	⑤全体練習
3	土	弁当	運動会				学	—	学活終了後下校

*来週は毎日、ジャージ登校です。

5/ 29(月) ①学活 中間考査個票返却など

朝学活までに図書委員がハチマキを配布。

⑤⑥全体練習⇒全校生徒で初めて練習になります。(行進、ひばりラン、開会式など)

腎臓検査二次追加

まだ1度も提出していなかったり、再検査であったりする生徒が対象です。容器が無い生徒は保健室にもらいにいきましょう。

5/ 30(火) ⑤⑥団体演技の練習

5/ 31(火) ①～④運動会予行練習 (昼食後、終学活をして下校)

当日朝に係の仕事がある生徒は8:00頃に担当場所に集合

その他の生徒は、椅子、はちまき、水筒、タオル、帽子等を持ち、8:20までに校庭のクラス座席位置に集合する。

6/ 1(木) ③団体演技の練習

⑥総合⇒社会単元テスト(歴史) *範囲は社会クラスルーム上にアップします

6/ 2(木) ①②運動会学年練習

⑤運動会全体練習

⑥なし ⇒ 運動会前日準備(係生徒や部活動生徒)

6/ 3(土) 運動会当日(実施の判断は当日朝6:30に行い、学校メールで連絡します) 弁当持参

⑤学活 運動会の振り返り など